

再生エネルギーの活用について

脱炭素社会への取り組みとして、再生エネルギーを活用するためソーラーパネルの導入を検討する。

- 1 設置箇所
別紙のとおり

- 2 シミュレーション結果

(1) 年間使用電力量 (kWh)

導入前	導入後 (想定)	
	太陽光発電設備発電量	系統電源側電力実績
131,801	90,720	41,081

(2) 年間 CO2 削減量

90,720kwh/年 (削減率 68.8%)

(3) 電気料金

設置費用が追加されることから、現状では、ソーラーパネルの導入前と導入後に電気料金の差はない。今よりも電気代の価格が上昇すると導入するメリットが出てくる。

- 3 導入方法

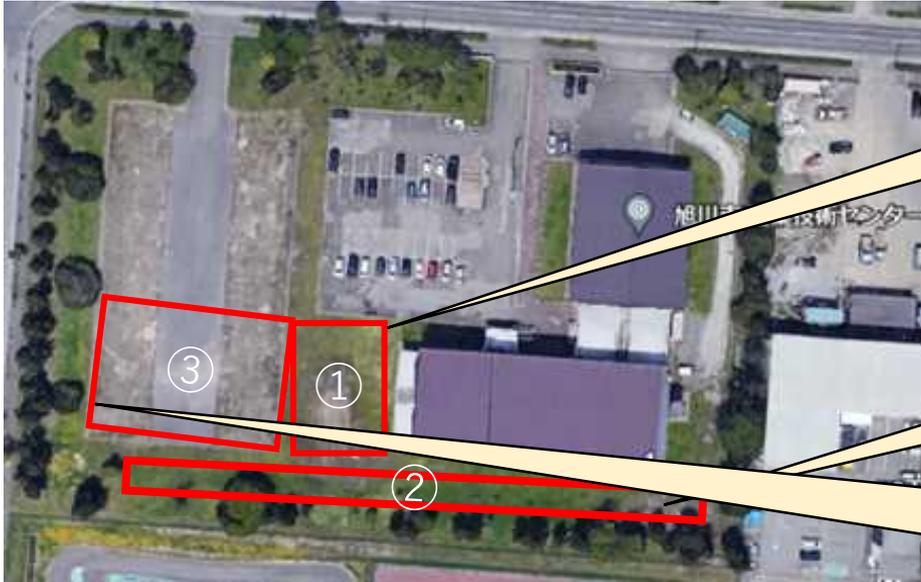
PPA (Power Purchase Agreement) 電力販売契約

企業・自治体が保有する土地に無償で太陽光発電設備を設置、維持管理して電気を供給する仕組み。契約期間終了後は太陽光発電装置は無償譲渡される。施設としては、土地の無償貸付を行う (17 年間)。

なお、契約期間中の解除には違約金が発生する。また、契約期間終了後の撤去費用が発生する。

- 4 効果 (想定)

- ・再生エネルギーを活用した施設維持の取り組み。
- ・当施設が、指定避難所に指定され、災害時に最低限の電力を保有 (冷房、携帯の充電等) することができる。



①
縦28m × 横20m = 560m²

②
縦7m × 横100m = 700m²

③
縦40m × 横25m = 1,000m²